

2019年 4月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 4月 7日(日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：生江 扶左子 感話：伊藤 純子
聖書講話：ヨハネの手紙 II III
「異端対決と兄弟愛の勧め」(付、ヨハネ文書の学びを終えて) 水戸 潔
- 4月 14日(日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：大手 美千代 感話：永井 徹
聖書講話：列王記下 2章1～18節
「エリヤの昇天」 武井 めぐみ
- 4月 28日(日) イースター記念会 (アクト研修交流センター 61号室)
司会：水戸 潔
聖書講話：イザヤ書 11～12章
「一つの若枝に主の霊がとどまる 喜びのうちに救いの泉から水をくむ」 武井 陽一
感話会
イースターを迎え、1人5分程度の感話をお願いします。
続いて、昼食会を頂きます。
参加希望者は、前もって、武井めぐみ まで申し込みください。食費600円の予定。

・・・通 信・・・

- 友和会静岡支部 総会 のお知らせ
4月 7日(日) 12時～12時半 アクト研修交流センター403号室
会員以外の方も よろしければ ご参加ください。
- 夏期聖書講習会を、7月27日(土)～28日(日)、デンマーク牧場「こひつじ診療所」にて開催します。今年、創世記11～25章、テーマは「アブラハムの生涯より学ぶこと」とします。具体的には、「出発と約束、サラとハガル、ソドム・ゴモラの滅び、イサクを捧げる」の4つの内容を、読書会形式で、参加する者一人ひとりが、創世記を通読した上で、学び合うことにいたします。5月初旬に案内をお配りします。あわせて「みぎわ」投稿の案内もお配りします。

イエスはイザヤ書の言の実行を一生の目的なしたもうたのである。われらはこの書においてイエスの理想を発見するのである。イザヤ書をもって養われて、彼は福音書が示せるがごとき生涯を送りたもうたのである。人なる彼はわれらと異なることなく、ある理想をある書に得て、その実行を試みて、これを成就したもうたのである。そしてイエスの場合において、その書を主としてイザヤ書であった。ことにその後編であった。…イザヤ書なくしてイエスなくパウロなしであった。人はその理想を知らずして知るあたわず。イエスが精神をこめて読みたまいしイザヤ書、彼に神の受膏者たるの理想を供せしイザヤ書、彼の生命の血たり肉たりしイザヤ書、この書を解せずしてイエスはわからない。

(「聖書の研究」1928年1月 66歳)

内村生いう、イザヤ書9章(1～7節)は余の最も好愛する聖書の一節である。余は幾たびこれを復読したかを知らない。しかし常になぐさめられ、常に新たなる能(ちから)を加えられる。この一章の中にキリストの降誕がよくしるされてある。さきにはゼブルンの地、ナフタリの地なるナザレの村に、後には暗きに歩めるわが心に、彼の臨みたまひしことがしるされてある。これは聖誕節の歌であって同時にわが再生の歌である。余は全章を余の実験として読むことができる。余にとりてはまことにこれ福音以前の福音である。

(1910年 50歳)